

● 木津川ダム総合管理所 ～水を守り水を生かす木津総管～

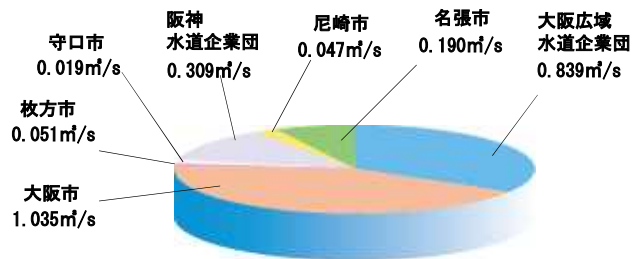
II. 青蓮寺ダム管理所



1. 概要

青蓮寺ダムは、淀川総合開発計画の一環とし名張川支川青蓮寺川に建設された多目的ダムで、昭和28年度から建設省(現国土交通省)で調査が進められた。昭和39年、水資源開発公団(現水機構)事業として、実施方針を受け、昭和41年3月工事に着手し、昭和45年12月に完了、昭和45年7月から管理業務を開始し現在に至る。

利水供給先
合計 / 2.490 m³/s



2. 管理の目的

◆洪水調節

洪水被害を軽減するため、貯水池への流入量が毎秒450立方メートルに達した後は、毎秒450立方メートルを放流する方法により洪水調節を行う。

◆不特定かんがい

名張地区及び木津川沿岸の不特定かんがい等用水として、ダムから補給のための放流を行う。

◆水道用水

阪神地区等(名張市含む)の水道用水として最大毎秒2.490立方メートルを供給する。

◆特定かんがい

名張地区特定かんがい用水として、最大1.60立方メートルを供給する。

◆発電

中部電力㈱の青蓮寺発電所で最大出力2,000kwの発電を行う。

■青蓮寺ダム貯水容量配分図

